

第43回 大阪学童保育研究集会

日時: 6月26日(日) 10:00~16:00

会場: 千代田高等学校

参加費: 1200円

★10:00~12:00★

全体会記念講演『子どもの心が見えますか?—思春期を見通した子育て—』

講師: 佐伯洋さん (「大阪教育文化センター 親と子の教育相談」相談員
元小学校、高等学校教師・現在立命館大学、千代田短大 講師)

笑いあり涙ありのエピソードを交えて、子どもの発達を学びます

★13:00~16:00★ (講座・分科会より1つ選択、詳しくは裏面をご覧ください)

特別企画 親子でつくってあそぼう!!

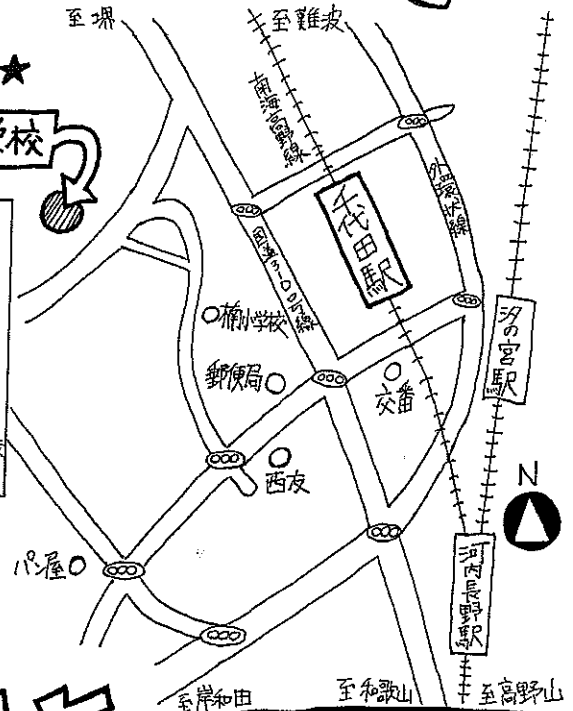
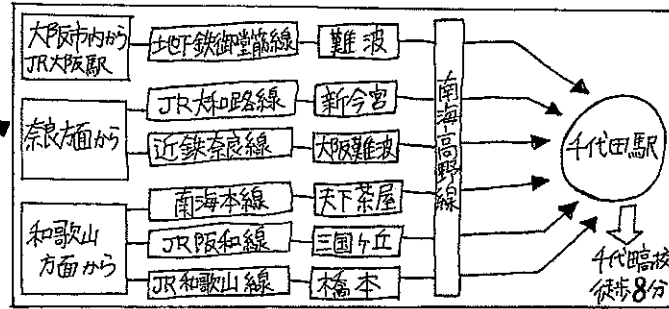
もちもの → はさみ・定規・のり

大人だけでも、子どもと一緒に
でも大歓迎!!
※牛乳パックを使ったびんびんゴマ
色画用紙の風車などつくります!!

講師 東森茂美・丸内敏朗 (指導員専門性研究会・子供の発達とあそび研究会)

主催: 大阪学童保育連絡協議会 [連絡先] 大阪府中央区谷町7-2-2-202
後援: 大阪府・大阪府教育委員会 TEL 06-6763-4381 FAX 06-6763-3593
河内長野市・河内長野市教育委員会

★アクセスマップ★



★保育★

受付: 千代田高等学校体育館
利用料: 500円
場所: 千代田高等学校体育館
千代田保育所
持ち物: 弁当・水筒・うわぐつ



午後の企画と分科会



13:00~16:00

親子でつくってあそぼう(表面)、4つの講座、7つの分科会から1つ選んでご参加ください。

講座1

小学生の子どもたちが心の奥で求めていること...

森川 紘一 (日本生活教育連盟)

学校の授業時間が長くなり、子どもたちの自由な「放課後」が「侵食」され続けています。子どもたちがからだいっぱい遊びまわりたいことは、何よりも子ども自身が心から求めていること...。子どもの権利を視点に、子どもの育ちと大人の関わりをやさしく語ります。

講座2

学童保育で大切にしたいこと 子ども・子育て新システムと学童保育

丸山 啓史 (京都教育大学)

働く保護者にとって不可欠な学童保育。子どもたちは放課後や夏休みを仲間とともに育ちあいます。

ところが国はそんな学童保育の制度そのものを丸ごと変えてしまおうとしているのです。国が責任をもたず市町村任せにする“新システム”で、子どもは？保護者は？そして学童保育はどうなるのか。

学童保育の本来の役割と比較しながらわかりやすく学びます。

講座3

より良い指導員集団・職員集団をつくろう

長瀬 美子 (大阪大谷大学)

豊かな学童保育の生活をつくるためには、指導計画や総括はもとより、ひとり一人の子ども理解・保護者とのかわりなど、指導員同士の話し合いの質が問われます。より良いチームワークのために必要なことを学びます。実際に討論してみるワークショップ型の講座です。ぜひ、同じ施設から複数でご参加ください。

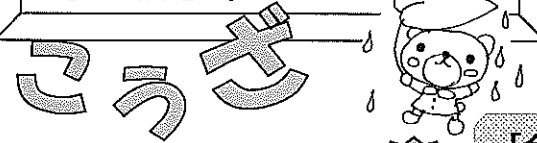
講座と討論

指導員のメンタルヘルスを考える

重田 博正 (社会医学研究所)

学童保育で働き続ける中で、様々な課題にむかいあい、疲れてしまうことも少なくありません。

指導員ならではの専門性や悩みも出し合いながら、健やかに働きつづけるためには、どんなことが大切なのか考えましょう。



「保護者・指導員が力をあわせて創る“保護者会活動”」

助 小部 修 世 馬場順子・池田のみみ 報 新田真奈美 高宮健太
(大阪教育大学) (茨木保護者) (富田林指導員) (富田林保護者) (吹田指導員)

保護者も指導員もどんな気持ちで行事や運動に取り組んでいるでしょうか。「子どもたちの輝く笑顔や成長を共に喜びあえたら...」「保護者も学童保育での出会いを楽しもう...」そんな思いがだんだん間かなくなりつつある今!? どうすればいいの?



「あそびを通して自信を育もう」

助 福田敦志 世 宮川 浩 報 和田智里
(大阪教育大学) (専門研・あそび研) (大阪市指導員)

遊びの中で「輪に入っていけない」「意欲が見られない」という姿に直面することもあります。そんなとき指導員ならどうする? 仲間の中で自分をさらけ出せ、みんなに受け入れられていく中で、その子自身の居場所が確立していきます。そんな豊かな関係を「遊び」の中でどう育てていくのか。実践をもとに深め合います。



「今こそ! 仲間との育ちあい 集団づくりの視点を実践に」

助 船越 勝 世 柏木秋代 報 松原指導員
(和歌山大学) (吹田指導員) (松原指導員)

子どもが「生きづらく」感じている時、大人はどのように寄り添い、居場所をつくり、子ども同士の関係を紡いでいけばいいの。船越先生の発達促進のトライアングルを学びながら、集団づくりの視点をもった指導員の関わり方を探ります。



「学童保育の子育て支援」

助 伊部恭子 世 館優子・森岡恵治
(佛光大学) (堺指導員) (大阪市指導員)
報 高見聖子 (寝屋川指導員)

子どもの輝く場面を学童保育のなかでどんなふうにつくり出し、キャッチしていくのか。子どもの課題や持ち味をどのように指導員と保護者が共有していくのか。子ども・保護者・指導員が育ち合う関係をつくるには、といったことを討論し深めます。

助=助言者 世=世話人 報=報告者

分科会

「障がい児と学童保育」

助 湯浅恭正 世 鬼塚結花
(大阪市立大学) (寝屋川指導員)
報 石川千枝 (熊取指導員)

障害をもつ子どもたちが学童保育の中で他児や集団とかわりながら、お互いを理解し、共に成長していくために、何を大切にしていこうのでしょうか? 指導員の思いや保護者の願いなど、事例を出し合って参加者の皆さんと考え合いたいと思います。



「指導員の労働条件と学童保育」

世 畠中琴代・吉田頼子
(守口指導員) (吹田指導員)
報 永井真理子 報 水野直美
(茨木指導員) (守口指導員)

任期付職員制度の導入、松原市の正規職員引き上げ、時間延長に伴う労働時間やローテーション問題等、指導員をとりまく問題は山積みです。

学童保育の質を高め、指導員として働き続けるためにどうすればいいの。交流し学んでいきたいと思います。



「地域と学童保育 ~地域づくりの視点と学童空間」

助 二宮衆一 (和歌山大学) 世 佐々木邦弘 (大阪市保護者)
世 塚田由佳里 (空間研究会) 報 大塚謙治 (堺指導員)

放課後の子どもたちに必要な“学童空間”とはどのようなものなのでしょうか? 放課後が学校化してきている! という状況がある中、子どもたちはどのような放課後の生活空間を求めているのでしょうか。

学童保育と地域の関係についても視点をおきながら、堺市における経験と実践報告をもとに、新たな角度からテーマに迫ります。

